

# ひなたぼっこ通信

2019年  
6月号

無料塾カリー付を開催しました。

以前からお知らせしていましたが、五月二十六日に無料塾を開催しました。左の写真は、勉強も終わり、ボランティアの講師や参加した子ども達、保護者が一緒に手作りの

カリーライスを食べるところです。これから月に1回のペースで無料塾を開催します。ふるってのご参加をお待ちしています。次回は六月二十三日十時からです。

ケアハウスから

「津軽三味線の魅力を堪能」 2階

日増しに緑が濃さを増し、初夏の陽気に誘われて外にお散歩に出かける利用者さんの姿がちらほら見られる過ごしやすい季節になりました。「ここは自然豊かでほんとにいい所ね」という声も聞かれます。今年は雪が少なかったとは言え、やはり寒かった冬が去ると本当にホッとしますね。

先日は津軽三味線のサークルの方たちが施設を訪れ、演奏を聞かせて下さいました。津軽三味線と言つと、冬の北の荒々しい海を連想し、また感



情をぶつけるような激しい撥さばきの演奏を思い浮かべます。利用者さんたちも生演奏が聞けるということでも何日も前から大変楽しみにされています。前半は皆さんで民謡と一緒に歌い、三人の三味線伴奏の音に負けないようにと声を出されていました。後半にはあの津軽三味線独特の演奏を聞かせて頂き、撥を叩きつけるような大きな音とテンポの速い演奏は、見事なもので圧倒されました。刺激の少ない日々の生活の中で、一服の清涼剤になったのではないかと思います。

職員として、利用者の皆さん方が五感を澄ませ、緑の風を感じながら精神的にも肉体的にもアクティブな生活を送って頂けるようなお手伝いをしたいと思っています。(Y)

「さあ、がんばって」1階

4月のお花見はいかがでしたでしょうか？お花見どころか雪見になってしまいました。4月に入ってから降る雪は何年ぶりでしょうかね。

新元号『令和』になりました。さあどんな年になるでしょうか。きっと万葉集から頂いたのいい年になると思います。

外はお田植えが始まり、田畑が緑一面になります。そして虫たちも活動が始まります。5月はケアハウスでも、津軽三味線、オカリナ、紙芝居等行事が沢山あり楽しい月でありました。

さあ頑張っていきましょう。



宅幼老所から

「安心安全な家」

毎年この季節になると宅幼老所の玄関近くの軒先は賑やかになります。一体なぜだと思えますか？正解は「ツバメが来る」です。

「ツバメが家に巣を作ると縁起が良い」と言われていますが、なぜ「縁起が良い」と言われるのか理由を少し調べてみました。

ツバメはより快適な場所を選び巣作りする習性があるとされています。渡り鳥として良し悪しを熟知しているツバメが子育てに適していると判断した場所は「恵まれた環境」という事になります。また、外敵から巣を守る為ツバメは「人通りの多い場所に巣を作る」事でも知られています。したがって、ツバメの巣が軒先にある宅幼老所は「快適な環境で、訪れる人も多く明るく賑やかな家」ということ。そんな場所に皆さんもぜひ遊びにいらしてください。

グループホームから

「ジャガ芋を植えました」 1階

今年は畑を広く貸してもらえる事になりました。「さあ、何を植えましょうか。」と利用者の方に相談してみると、ジャガ芋、白菜、大根などが候補に上げられました。しかし、「少し保存できる物が良さそうだ。」ということで、まずはジャガ



芋を植える事になりました。

次はその植え方の問題です。種イモを半分に切つて、その断面に灰を付けて植えると腐りにくいということを知りました。

私がジャガイモです。



私はびっくりしました。さてそのまた次は、それも含めた下ごしらえのことです。

ある利用者の方は「灰は植えるその時に付けて植える。」と言われ、またある利用者様は、「いやいや、灰は前もって付けておく。」と言われました。そして、種イモから出ている芽を「取る」と言われる方がいたり、「いや取らない。」と言われる方がいたり、色々意見が分かれました。最終的には、それぞれの家のやり方があるから、それぞれやり方でやってみましょう、ということに落ち着きました。無事下ごしらえが終わり、「近いうちに植える時にはお願いしますね。」とお伝えすると、「任せて！」と、たのしい言葉も頂けました。

数日たって、さあ、いよいよ種イモの植え付けです。3時のお茶を飲んだ後、畑作りの経験のあるN様にご指導を頂きながら、職員がクワで溝を掘りました。つづいてN様が手慣れた手つきで種イモを手持って溝の中に入りました。ご自身の足を利用して種イモを置く位置をはかります。「右左、右左」と、足先に1つ1つ種イモを置いていきます。その技に驚く職員、その職員の話かける

声も耳にはいらぬほど集中され夢中で植えられているN様でした。その姿はとても生き生きとされていました。

芋を掘る時のうれしい姿が目には浮かびます、楽しみです。

「ごどもの日」グループホーム2階

5月5日は、ごどもの日でした。グループホームでは少し前に、入居者様に折り紙で「鯉のぼり」を紙で折って作っていただいていたました。それを画用紙に貼ったものをお見せしました。すると、

「これは鯉のぼりか。」昔、息子の為に鯉のぼりをあげたなあ。

などと皆さま笑顔でお話しされました。昔のことを思い出し、懐かしんでおいでのようでした。まだ小さかった息子さんの顔や、その当時のご家族のことを思い出されたのでしょうか。

それを聞きながら私も、昔、家で鯉のぼりをあげてもらった時のことを思い出し、懐かしい気持ちになりました。

### 放課後等デイサービスから

「4月のざわめきを受け止める」



4月はいつでも子ども達にとって新しい生活の始まりです。それぞれの学校への入学や進級は、子ども達にとって、期待でもあり不安でもあります。1年かけて慣れ親しんだ場所や友達、先生も

替わってしまうことがあります。それは障害があってもなくてもどの子も同じことで、ある子はその時「何だかとてもいい子になったり」ある子は「何だか落ち着かないね」となったりします。それぞれ、「過剰適応」といい、また「不適応」といって、どちらでも平静な状態ではないと捉えられます。ではどうするか。待ちます。多少の「荒れ」があっても、余り過敏に反応せず、連休明けには落ち着いてくるはず、と見通しをもって受け止めていきます。4月になって、急に登校渋りを始めた子も、何やら過剰に饒舌になった子も、今は落ち着きを取り戻しています。大人だって、

新しいことに慣れるのに時間がかかりました。子どもも同じです。ちなみに写真は、今、女子ではやっているスライムです。知ってましたか。私は知りませんでした・・・。



理事長 森 正明

T 3999-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336